

令和6年度 大阪府立槻の木高等学校 第2回 学校運営協議会

令和6年 10月 25日 14:00～
大阪府立槻の木高等学校 会議室

委員

会長 渡辺 将史(本校 PTA 会長)
副会長 安田 信彦(高槻市立第一中学校校長)
委員 瓜生 彩子 宮坂 政宏 官田 光史
【欠席】 田中 隆夫

事務局

青竹 二郎(学校長) 水井 理弘(事務長)
小川 大樹(教頭) 江菅 純一(首席) 井上 公彦(首席)
【欠席】
岡田 英次(学習指導室長)

本日実施している、「土曜講習の見学」および「学校説明会の見学」

次第

1 学力向上と進路実現への取り組み

本校では、新学習指導要領に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいます。思考力・判断力・表現力の育成を重視し、進路実現に向けた学習支援体制を整備しています。具体的には、国公立大学進学希望者への個別サポート、土曜講習の実施、平日の学習時間確保などの取り組みがあります。数値データでは、国公立大学進学希望者数や平均学習時間などが示されました。

2 生徒の規範意識・人権意識の育成

生徒の規範意識と人権意識の育成にも力を入れています。遅刻者数の管理、自転車通学者への指導、情報リテラシー教育の実施などの取り組みがあります。スクールカウンセラーによる教育相談件数が増加しているため、生徒の様々な課題に対応する必要があります。SNS の利用に関する指導や、要配慮生徒に対する支援なども課題となっています。

3 グローバル人材の育成

グローバル人材の育成にも注力しています。「槻の木 NEXSTAGE」と呼ばれる取り組みでは、留学生との交流、海外との遠隔交流、英語による授業などを行っています。文化祭や体育大会での広報動画の制作なども、グローバルな視点を養う機会となっています。生徒の満足度は高く、このような取り組みを通じてグローバルな素養を身につけることができます。

4 保護者・地域との連携

保護者や地域との連携も重視されています。PTA の行事への参加、保護者向け説明会の開催、ホームページやメールマガジンによる広報活動などが行われています。文化祭や体育大会への保護者の参加率は高く、クラブ活動にも保護者が足を運んでいます。一方で、PTA への未加入世帯が増加する可能性への対応が課題となっています。ホームページのユーザーインターフェースの改善なども提案されました。

5 ICT 活用と働き方改革

ICT 機器の活用と働き方改革への対応も重要な課題です。無線 LAN 環境の整備が進行中で、会議の効率化や入試のデジタル化などが期待されています。一方で、教員の長時間労働が課題となっており、要配慮支援や課外活動対応などが要因となっています。定時退庁の推進にも取り組んでいますが、本校の魅力である手厚い教育活動を維持するため、働き方改革との両立が難しい状況にあります。

6 次回会議日程と閉会

次回は2月8日に実施予定。

学校運営協議会の前に授業見学をしていただく。